

個別報告公募のお知らせ

国際法学会 研究企画委員会

本学会においては、学会員に自主的かつ公平な研究発表の機会を多く提供することによって、学会員の研究意欲を喚起し、学会活動のいっそうの活性化をはかるという方針から、個別報告公募制を採用しています。

2025年度研究大会の公募要領は以下のとおりです。奮ってご応募いただきますようご案内申し上げます。

2022年度研究大会総会においてお伝えしましたとおり、2023年度研究大会からは自由論題での個別報告の依頼をしていません。自由論題での個別報告は公募のみとなっていることにご留意ください。

公 募 要 領

1 報告時期・採択予定数

2025年度研究大会時(2025年8月24日(日)～26日(火)に岡山コンベンションセンターにおいて開催される予定です)。個別報告公募採択者(最大9名程度)からなる分科会(1分科会につき3名程度)を25日午後、26日午前、26日午後に亘って設定する予定です。(ご報告の日程については採択後に研究企画委員会で決めさせていただきます。)

2 報告テーマ・形式

報告テーマは自由論題で募集します。報告は、個別報告公募採択者からなる分科会において行っていただきます。1人あたり報告30分、質疑応答25分程度を予定しています。30分以内で報告できる内容としてください。英語による報告も歓迎します。

3 応募資格

応募時および報告時に国際法学会会員である必要があります。博士後期課程在学中の学会員にも応募資格が認められます。なお、同一研究大会について、個別報告公募とパネル報告公募との双方に応募することもできます。(個別報告公募に複数のテーマで応募することはできません。)

4 応募手続

応募者は、以下のフォームに直接入力、または自由書式(下記の記載事項をもれなく記載したもの)をアップロードすることにより、応募してください。

[フォーム直接入力](#)

[自由書式アップロード](#)

いずれの場合も、2025年2月1日(土)(必着)までに応募してください。

記載事項

- (1) 氏名
- (2) 所属および地位
- (3) 略歴(学部以後の学歴および職歴)
- (4) 連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)
- (5) 研究分野(国際法、国際私法、国際政治・外交史の別)
- (6) 国際法学会報告歴
- (7) 関係業績一覧(主要業績5点以内。リサーチマップ<<https://researchmap.jp/>>に業績が掲載されている場合は、掲載ページのURLを記載することで代替可。)
- (8) 研究報告の題目(日本語と英語)および概要(1500字程度、英語での報告の場合は英文で500ワード程度)

(9) 都合がつかない日程がある場合には、その理由および日程

5 審査手続

研究企画委員会は、公募審査委員会を設置して、応募者から提出された研究報告の題目・概要および研究歴・報告歴などに基づく審査を依頼し、その結果を踏まえて報告者を決定します。採用に際しては、報告内容に関する付帯意見を付すことがあります。

6 結果発表

応募者には、原則として電子メールを用いて採否(採用に当たって付帯意見または一部変更の条件を付す場合には、それも含む。)を遅くとも研究大会の3か月前までに通知します。また、採用され報告が確定した者の氏名および報告題目を学会ウェブサイト公表します。

7 注意事項

- ・ 個別報告公募によって報告を行っても、将来の依頼報告の機会に影響が生じることはありません。
- ・ 大会記録作成および国際法学会雑誌編集委員会による検討のために、報告および質疑応答を録音し、録音データを1年間保管します。
- ・ 2025年度研究大会は、ハイブリッド方式で開催する予定です。ご報告は会場で行っていただきます。また、ご報告は、研究大会参加登録者を対象に、同時配信および録画配信(配信開始後2週間程度で終了予定)する予定です。

以上